

（枕草子①）

枕草子 ↓（作者）

春はあけぼの。やうやう白くぬるやうへ

山ぎは、すしあかりて、紫だちたる

雲のほそくたなむすんだる。

夏は夜。月のころは、はらなりやみも

なほ、螢の多く飛びちがひたる。また、

ただ、こころいふごとく、ほのかにうち光りて

行くもをかし。雨など降るもをかし。

